

Quality Management News

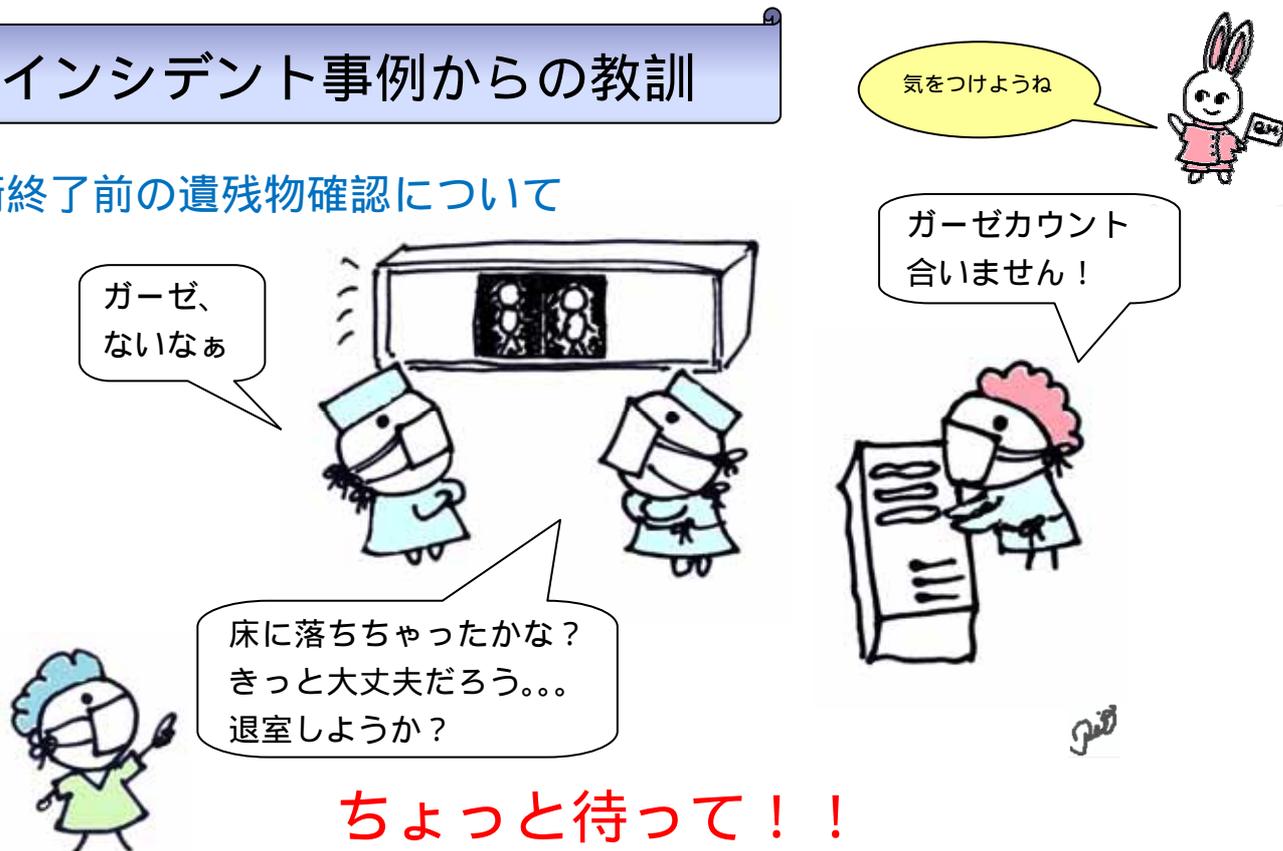
医療の質・安全ニュース

No. 3 08/9/吉日



インシデント事例からの教訓

手術終了前の遺残物確認について



手術終了前には、必ず遺残物がないことを確認します。

本院の
ルール

開胸・開腹手術では、全例、手術室で X 線撮影を行う。
それ以外の手術でも、ガーゼカウントが合わない時や針の紛失などの際には、X 線撮影を行う。
遺残物がないことを確認するまで手術終了・退室しない!
遺残物確認の X 線写真は、**研修医を除く医師 2 名**で確認し、
手術看護記録の遺残物確認者氏名欄に**署名**する。

カウントが合わないが、X 線上にも遺残物が見当たらない時には、

1. **関係医療従事者全員で協力して再検索する**
2. X 線撮影の方向などを工夫する
(小さいものでは骨との位置関係で描出しにくいことがある)
3. X 線 CT 撮影を考慮する

医療チーム全員で協力して、異物残留防止に努めましょう!



「5S活動」 この言葉、知っていますか？



整理
(seiri)

必要なものと不必要なものを分け、不要なものを捨てること。

整頓
(seiton)

必要なものがすぐ取り出せるように置き場所・置き方を決め、表示を確実にすること。

清掃
(seisou)

掃除をして、ゴミ・汚れのないきれいな状態にすると同時に、細部まで点検する。

清潔
(seiketsu)

整理・整頓・清掃を実行し、汚れのないきれいな状態を維持すること。

習慣
(syukan)

決められたことを決められたとおりに実行できるよう、習慣づけること。

医療安全の基本は、まずは5Sから

院内パトロールで各部署をラウンドしました。



(悪い例)

救急カートの上は、
物置ではありません！



(良い例)

準備万端！
いつでもOKです！